

# 変形性膝関節症患者に対する高位脛骨骨切り術および人工膝関節全置換術後の機能回復関連因子に関する単施設後方視的観察研究

2016年1月から2026年4月までに、変形性膝関節症に対して高位脛骨骨切り術または人工膝関節全置換術を受けた患者さん

## 研究協力をお願い

当科では「変形性膝関節症患者に対する高位脛骨骨切り術および人工膝関節全置換術後の機能回復関連因子に関する単施設後方視的観察研究」という研究を行います。この研究は、2016年1月から2026年4月までに、東京労災病院整形外科にて、変形性膝関節症に対して高位脛骨骨切り術または人工膝関節全置換術を受け、術後リハビリテーションを受けた患者さんの機能回復関連因子を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただき、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

### (1) 研究の概要について

研究課題名：変形性膝関節症患者に対する高位脛骨骨切り術および人工膝関節全置換術後の機能回復関連因子に関する単施設後方視的観察研究

研究期間：2026年5月31日から2030年3月31日まで

研究責任者：東京労災病院 中央リハビリテーション部 大宮博之

### (2) 研究の意義、目的について

変形性膝関節症は、疼痛や歩行障害、身体機能低下を引き起こす代表的な運動器疾患です。高位脛骨骨切り術や人工膝関節全置換術は、進行した変形性膝関節症に対する代表的な手術治療ですが、術後の機能回復には個人差があることが知られています。本研究では、画像所見、血液データ、患者立脚型評価指標、身体機能評価、およびリハビリテーション経過を用いて、術後機能回復に関連する因子を明らかにすることを目的とします。

### (3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2016年1月1日より2026年4月30日までに東京労災病院整形外科にて、変形性膝関節症に対して高位脛骨骨切り術または人工膝関節全置換術を受けられた患者さんを対象に、診療情報、画像所見、血液データ、患者立脚型評価指標、身体機能評価、およびリハビリテーション経過を後方視的に解析し、術後機能回復に関連する因子について検討を行います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、身長、体重、Body mass index (BMI)、術式、X線画像所見、MRI所見、血液データ (CRP、Alb、HbA1c、脂質関連指標等)、Knee injury and Osteoarthritis Outcome Score (KOOS)、膝関節可動域、膝関節伸展筋力、歩行能力、杖歩行離脱時期、在院日数、リハビリテーション経過、既往歴、診療録情報

### (4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

### (5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

### (6) 問い合わせ等の連絡先

東京労災病院 中央リハビリテーション部 主任理学療法士 大宮博之

〒143-0013 東京都大田区大森南 4-13-21

電話番号：03-3742-7301（代表）

メールアドレス : omiya-hiroyuki482@m.johas.go.jp